

ぎふ感染症かわら版

平成 29 年 5 月 19 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



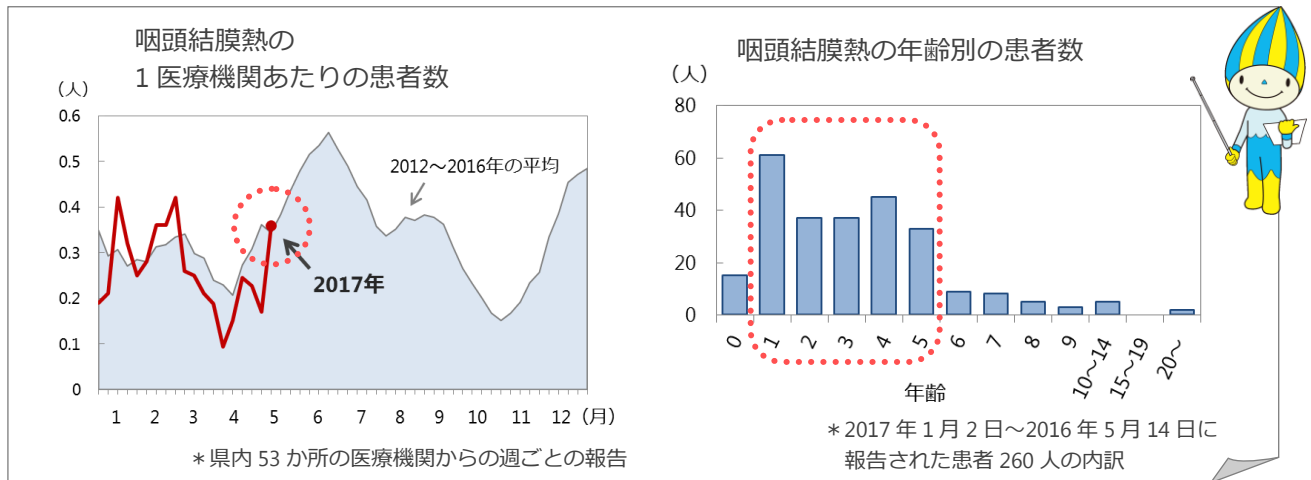
咽頭結膜熱（プール熱）に注意しましょう！

咽頭結膜熱は、夏かぜの一つで、

例年、6月頃から患者が増加し始め、7月から9月にかけて流行します。

今年は、全国的に4月半ばから患者の増加がみられています。

県内でも、5月に入り患者が増加していますので、これから夏に向けて注意が必要です。



どんな病気？

アデノウイルスによって起こる感染症で、5歳以下のお子さんに多くみられます。

感染してから5~7日後に、**発熱**、のどの炎症（咽頭炎）による**のどの痛み**、目の炎症（結膜炎）による**目の充血や痛み**などの症状があらわれます。



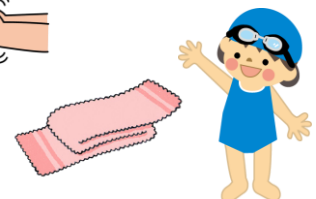
どう感染するの？ 予防方法は？

原因となるアデノウイルスは、感染した人の鼻水や唾液、便の中に含まれ、咳やくしゃみのしぶきによる**飛沫感染**や、手指などを介した**接触感染**により**鼻やのど**、**目（結膜）**から感染します。

「プール熱」と呼ばれるように、プールの水を介して目から感染することもあります。

予防には、**流水と石けんによる手洗い**が大切です。

また、**プールから上がったときはシャワーを浴び**、**タオルや目薬を他の人と一緒に使わない**ようにしましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

